

科目名		授業形態	担当教員名	
理学療法評価学Ⅳ		講義	坂東 恵美子・藤 信太郎	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（2 単位）		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
以下の項目について知り、各項目の神経学的機序についても理解できるようになることを目的とする。 1. 反射検査 2. 筋緊張検査 3. 片麻痺機能検査 また、脳血管障害という疾患に対する理解も深め、その評価について知る。 さらに、評価総論として、「評価とは何か」を学生とともに整理し、理解する。				
授業の到達目標				
1. 反射検査・筋緊張検査・片麻痺機能検査の意義が説明できる。2. それぞれの検査の方法を理解し、実施できる。3. それぞれの検査の結果を記録することができる。4. 理学療法における評価の意義・目的を説明できる。5. 評価の構成要素を列挙する。6. 片麻痺患者の評価を具体的に考える。				
授業計画				
回	内容			
1	講義オリエンテーション 片麻痺機能検査① 脳血管障害について 片麻痺機能検査概要			
2	片麻痺機能検査② 片麻痺機能検査 実技			
3	片麻痺機能検査③ 片麻痺機能検査 実技			
4	片麻痺機能検査④ 復習 まとめ			
5	評価総論① 理学療法評価とは			
6	評価総論② 評価について今まで学習したことから整理する			
7	反射検査① 反射の神経学的機序について 反射検査概要			
8	反射検査② 腱反射実技			
9	反射検査③ 腱反射・表在反射実技			
10	反射検査④ 病的反射 反射まとめ・復習			
11	筋緊張検査① 筋緊張の神経学的機序について 筋緊張検査概要			
12	筋緊張検査② 筋緊張検査実技			
13	片麻痺患者の評価について ケーススタディ①			
14	片麻痺患者の評価について ケーススタディ②			
15	実技 復習 まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%	筆記試験4割、実技試験6割		
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	実技試験は講義期間中と試験期間中の2回にわけて行う。			
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
ベッドサイドの神経の診かた 第18版	田崎 義昭 他		南山堂	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
理学療法評価法 第2版	千住 秀明 他		神陵文庫	
理学療法評価学 改訂第4版	松澤 正 他		金原出版	
自由記載				
備考				